

港区基本計画・麻布地区版計画書（素案）区民参画組織提言の反映状況

麻布地区総合支所協働推進課

提言番号	地域事業名	提言	提言内容	所管課	反映結果				提言への対応
					地域事業に反映	主な取組に反映	既存事業で対応	反映できない	
1	六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～	「ルール違反ゼロ」をめざし、取り組みの強化や周知方法を検討します。	<p>【取り組みの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 六本木交差点周辺を対象とする、まちのルールを強化する実証実験を提案します。 喫煙スペースを分かりやすく表示し、ルールの徹底を図ります。 自転車利用者のルール違反が目立つため、マナー啓発を積極的に行います。 <p>【周知方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 憲章デザインの認知度と周知の効果を検証します。 外国人への積極的な周知を提案します。 外国人を含む麻布地区への全ての転入者に、転入時講習を実施し、まちのルールの周知を図ります。 <p>【参加者層の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> 賛同事業所へのインセンティブ導入の検討を再度提案します。 「みんなでエコっとプロジェクト」と連携し、参加者層の拡大をめざします。 	協働推進課	○				<p>計画期間内の「六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～」で、次の内容に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実証実験の実施に向け、関係機関と調整を図ります。 麻布警察署と連携して実施している六本木安全安心プロジェクトのキャンペーン活動を通じて、自転車利用者に向けたルール及びマナーの周知を図ります。 外国人を含む転入者ヘリーフレットや啓発品を配布し、転入時講習等、まちのルールの周知方法を検討します。 区ホームページや地域情報紙等を通じて、賛同事業所の紹介内容の充実・拡充を図るなど、賛同事業所のメリットにつながる取組を検討します。
2	[地域と事業所] 防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～	対象が事業所中心で、区民には分かりにくい事業です。防災は全ての区民が関心を持って取り組む必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 麻布地区の地域事業としての実施では、計上事業として実施する必要があります。 地域事業からは外して既存の組織を生かして取り組むことが望ましいです。 	協働推進課		○			<ul style="list-style-type: none"> 地域事業としては廃止します。 主な取組の地域防災力の向上や駅周辺滞留者対策及び事業所防災の推進の中で整理統合し、広く区民が関心を持つ内容で実施します。
3	みんなでエコっとプロジェクト	参加者が地域の環境に関心を持つ事業に改善します。	<p>【事業内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の環境を知る取り組みを提案します。 <p>【事業名称の変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「親子でエコっとプロジェクト」への名称変更を提案します。 <p>【参加者の意向把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者にアンケートを行い、新たなコンテンツを企画します。 	まちづくり課	○				<p>事業名を「親子でエコっとプロジェクト」に改め、計画期間内で次の内容に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 六本木安全安心プロジェクトと連携し、環境美化活動や道路美化活動を通じて地域の環境を知るイベントを新たに検討します。
4	みんなでまちをよくする「ミナヨク」	地域コミュニティの担い手を輩出できる事業に改善します。	<p>【事業目的の変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のサポーターとして活躍する人材の育成を目指します。 <p>【地域コミュニティとの関係構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の地域コミュニティとの双方向の関係構築が必要です。 地域事業への人材輩出が必要です。 <p>【「ミナヨク」修了生の継続的な活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座終了後も活躍できる場の提供が必要です。 	協働推進課	○				<p>計画期間内の「みんなでまちをよくする「ミナヨク」」で、次の内容に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域サポーターとして活躍できる人財を育成するプログラムに再構築します。 「AZABU 愛 CONTACT」や「あざぶ達人ラボ」で、イベントの企画立案から運営までの一連の役割を担い、活躍できる流れを検討します。
5	AZABU WORLD FESTA	ミナヨク修了生が活躍できる事業に改善します。	<p>【事業内容の再構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 麻布地区にふさわしいイベントのあり方を検討します。 <p>【「ミナヨク」参加者や修了生の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ミナヨク」参加者や修了生が主体となるイベントを構築します。 <p>【地域事業との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「麻布未来写真館」や「あざぶ達人ラボ」と連携し、成果物の活用を提案します。 地域事業の集大成となるイベントを長期的な視点で検討します。 	協働推進課	○				<ul style="list-style-type: none"> 事業名を「AZABU 愛 CONTACT」に改め、計画期間内で次の内容に取り組みます。 イベントの企画立案から運営まで「ミナヨク」修了生との連携が図れる仕組を検討します。 麻布未来写真館やあざぶ達人ラボのこれまで蓄積した成果物を活用し、集大成となる新たなイベントを検討します。

提言番号	地域事業名	提言	提言内容	所管課	反映結果				提言への対応
					地域事業に反映	主な取組に反映	既存事業で対応	反映できない	
6	麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ 麻布の記憶～	情報発信の手法を改善します。	<p>【写真の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く写真の提供を呼びかける必要があります。 ・麻布の「今」の写真を募集し、パネル展等での活用を提案します。 <p>【パネル展の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演出やレイアウトの工夫が必要です。 ・地域の公共施設や商店街でのパネル展の開催を提案します。 <p>【デジタルアーカイブの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した古い写真の整理が必要です。 ・インターネット上で公開するための検討が必要です。 	協働推進課	○				<p>計画期間内の「麻布未来写真館 ～次世代につなぐ麻布の記憶～」で、次の内容に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻布図書館や麻布管内のいきいきプラザ等で、麻布未来写真館分科会メンバーによる解説付きパネル展の開催を検討します。 ・収集した写真を体系的に整理し、区ホームページや地域SNSアプリ「PIAZZA」等のSNSを活用して、定期的な情報発信を検討します。
7	地方交流事業	山形県舟形町との交流を深める事業に改善します。	<p>【内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏以外にもイベントの開催を提案します。 ・国宝「縄文の女神」の魅力の発信を提案します。 ・親しみやすい事業名への見直しを提案します。 <p>【方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を深める取り組みを提案します。 	管理課 協働推進課	○				<p>事業名を「地域間子ども交流 ～あらたなはっけん あらたなきずな～」に改め、計画期間内で次の内容に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流先自治体とオンラインでのイベント開催や交流機会を創出する取組を新たに検討します。 ・双方向での交流を念頭に、イベントの参加者が継続的に活躍する体制を構築します。
8	地域サロン ～ちょこっと 立ち寄りカフェ～	他の事業との連携を深め、事業を拡充します。	<p>【内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者のニーズを把握し、コンテンツの充実を検討します。 ・区の取り組みやサービスの案内を充実します。 <p>【新たな参加者の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未参加者への周知方法の検討が必要です。 <p>【他の事業との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「麻布未来写真館」や「あざぶ達人ラボ」と引き続き連携します。 	区民課	○				<p>計画期間内の「地域サロン「ちょこっと立ち寄りカフェ」」で、次の内容に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者に対して、関係機関の情報提供を充実し、高齢者向けの啓発事業等を実施します。 ・開催時間帯を工夫し、新たな参加者の確保を図ります。
9	麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～	蓄積した知識や成果物を活用し、幅広い世代が参加できる事業に改善します。	<p>【コンテンツの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻布の「今」を発信する講演会等の実施を提案します。 ・麻布の「今」を巡るまち歩きの実施を提案します。 ・小中学生向けのコンテンツを新たに提案します。 <p>【他の事業との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ミナヨク」修了生と連携します。 ・「ちょこっと立ち寄りカフェ」との連携を深めます。 	協働推進課	○				<p>事業名を「あざぶ達人ラボ ～次世代につなぐ麻布の魅力～」に改め、計画期間内で次の内容に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタ映えスポット巡りやオンライン講演会等、幅広い世代が興味を持ち参加できるまち歩きや講演会を新たに検討します。 ・これまで蓄積した知識や成果物を活用した子ども向けのコンテンツを作成し、麻布管内の児童館や放課GO→クラブへの出張講座の実施に向け検討します。 ・イベントの企画立案から事業運営まで「ミナヨク」修了生との連携を図ります。
10	正副座長の総括	区民参画組織の改編	<p>【名称の変更】</p> <p>「区民参画組織麻布を語る会」を「麻布カウンスル」に変更し、区民参画組織の全体会であることを明確にする。傘下の組織は「麻布カウンスル○○分科会」等と表記する。</p> <p>【委員会の設置】</p> <p>従来併存してきた3つの分科会のうち、主体的な活動が定着した会を「委員会」とする。</p> <p>① 地区政策委員会の設置 麻布地区政策分科会を「地区政策委員会」に改称する。</p> <p>② 地区広報委員会の設置 新たに「地区広報委員会」を設置し、麻布地区の広報の総合調整と企画立案を担う。麻布未来写真館分科会及び地域情報の発信分科会との連携を図る。</p> <p>【分科会の見直し】</p> <p>「分科会」は、地域事業等の実施を支援する。</p> <p>① 地域人財育成分科会の設置 「地域人財育成分科会」を設置し、地域の担い手の育成を目指す。</p> <p>② 地域サポーター分科会の設置 「地域サポーター分科会」を設置し、地域事業やイベントの援助者の確保を目指す。</p>	協働推進課		○			<p>麻布地区版計画書の前期3年で麻布地区政策分科会からの提言を踏まえて検討及び調整を進め、後期3年の初年度となる令和6(2024)年度から「麻布カウンスル」を全体会とする組織の実現をめざします。</p>

提言番号	地域事業名	提言	提言内容	所管課	反映結果				提言への対応
					地域事業に反映	主な取組に反映	既存事業で対応	反映できない	
11	正副座長の総括	事業対象者の明確化	事業構築の際、年齢・地域等の要素を考慮し、対象者を明確に定める。	協働推進課		○			事業構築に当たり、対象者を明確に定めるようにします。
12	正副座長の総括	六本木交差点周辺のルール強化	六本木交差点周辺の安全確保と美化推進を目的とし、路上喫煙、自転車の危険運転や路上放置、ごみのポイ捨て、客引き等への指導を実証実験として行う。路上喫煙については、過料の導入も検討する。エリアは図の範囲とする。	協働推進課	○				計画期間内の「六本木安全安心プロジェクト」において、提言内容の検討を進めます。
13	正副座長の総括	まちのルールの周知	実証実験「転入時講習」を導入し、外国人を含むすべての転入者にまちのルールやマナーの徹底を図る。転入時講習は運転免許の更新時講習をモデルに、転入届の処理時間を活用し、まちのルールやマナーを15分程度のスライドで視聴してもらう。	協働推進課	○				計画期間内の「六本木安全安心プロジェクト」において、提言内容の検討を進めます。

新型コロナウイルス感染症を踏まえた意見聴取の反映状況

1 地域事業に対する提案								
番号	地域事業名	意見	所管課	反映結果				意見への対応
				地域事業に反映	主な取組に反映	既存事業で対応	反映できない	
1	六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～	・MINATOフラッグ制度の新たな認証要素として感染予防が加わる可能性があり、六本木安全安心憲章推奨事業所等認証制度においても感染症予防対策の項目を加えることを検討してはどうか。	協働推進課	○				各地域事業で対応します。 関係機関や関係部署と調整を図りながら、検討を進めます。 オンラインを活用した事業の実施など、事業の性質に応じて、開催や運営の方法を検討します。また、人が集まる場合は、新型コロナウイルス感染症等に配慮し、万全の対策を取った上で事業を開催します。
2	AZABU WORLD FESTA	・感染終息後、麻布版「GO TO キャンペーン」として、“GO TO EAT”を開催し、麻布地区の魅力の一つである「食文化」を紹介してはどうか。	協働推進課	○				
3	麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～	・感染終息までは、個人での撮影や研究を深める等、先を見据えた個人中心の行動期間としてはどうか。	協働推進課	○				
4	地方交流事業	・人が行き来することは難しいので、物資支援等を積極的に行ってはどうか。	管理課 協働推進課	○				
5	地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～	・高齢者にタブレットを貸与して、オンラインで実施してはどうか。	区民課	○				
6	麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～	・感染終息までは、個人での撮影や研究を深める等、先を見据えた個人中心の行動期間としてはどうか。	協働推進課	○				
7	全般	・印刷物だけでなく、動画を活用したりすることで、これまでの活動を閲覧できるようにしてはどうか。	管理課 協働推進課 まちづくり課 区民課	○				
2 今後の地域コミュニティのあり方についての提案								
番号	意見		所管課	反映結果				意見への対応
				地域事業に反映	主な取組に反映	既存事業で対応	反映できない	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで地域と結びつくことができる取組、集まらずにつながりができる取組を考えていきたい。 ・地域交流のオンライン化が進めば、地域の特色が薄れてくる。また、オンラインでコミュニケーションがとれる中では「地域で交流」だけでよいか考える必要がある。麻布でしか体験できない、触れ合うことができない、新しい地域のあり方を醸成し、広めていくのはどうか。 		管理課 協働推進課 まちづくり課 区民課		○			「新たな生活様式を踏まえた事業運営の推進」で対応します。 オンラインを活用した事業の実施など、事業の性質に応じて、開催や運営の方法を検討します。また、人が集まる場合は、新型コロナウイルス感染症等に配慮し、万全の対策を取った上で事業を開催します。